

【平成22年度】京都検定現地講習会



主催 / 京都商工会議所

★ 4月・5月 開催

【休日コース】

※印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
①	下京東部を歩く — 京都を歩く⑧ —	5月23日(日)	【長講堂】※阿弥陀三尊像(重文)など 【平等寺】※薬師如来立像(重文)、 ※如意輪観音坐像(重文)、※釈迦如来立像(重文) 寺町・御土居、蓮光寺、文子天満宮、 万寿寺跡など	松波 宏隆 氏 龍谷大学非常勤講師

☆見どころ☆

*日程・拝観先は変更になる可能性があります。

- 長講堂:浄土宗西山派。本来は六条西洞院にあった後白河法皇の六条殿の持仏堂。本尊の阿弥陀三尊像(重文)は来迎形であるが、両脇侍は片足踏み下げとなり、奈良様を示す。院尊による造立との伝承がある。※通常非公開
- 平等寺(因幡薬師):真言宗智山派。因幡国司の橘行平が海中の靈光から探し出した薬師如来が、帰洛後の行平を追って飛来したことに由来。本尊の薬師如来立像(重文)は定朝直前期の様相を持ち、日本三如来の1つとして著名。その他、宋の様式を見せる如意輪観音坐像(重文)、清凉寺式の釈迦如来立像(重文)などがある。※仏像は通常非公開

【平日コース】

※印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
A	北野東向観音寺と引接寺 (千本ゑんま堂)の文化財	4月22日(木)	【北野東向観音寺】※本堂(市指定文化財) ※本堂諸尊(本尊は除く)、伴氏廟、土蜘蛛塚など 【引接寺】閻魔大王像・司録像・司命像、 石造塔婆(紫式部供養塔・重文)など	小嶋 一郎 氏 京都産業大学 日本文化研究所 首席特別客員研究員
B	千光寺(大悲閣)と常寂光寺 の文化財	5月27日(木)	【千光寺】千手観音立像ほか諸尊、客殿、 角倉了以像など 【常寂光寺】本堂、多宝塔(重文)、時雨 亭跡碑、※妙見堂など	

*日程・拝観先は変更になる可能性があります。

【北野東向観音寺と引接寺(千本ゑんま堂)の文化財】

- 北野東向観音寺:藤原小黑麻呂が王城鎮護のために建立したとされる。本堂(市指定文化財)は、慶長12年(1607)、豊臣秀頼によって再建。本尊十一面観音(秘仏)の他、不動明王、地藏菩薩等、平安から桃山時代にかけての仏像を多数安置。境内には菅原道真母の廟所と伝わる伴氏廟や土蜘蛛の墓がある。※当日は非公開の礼堂から諸尊を参拝
- 引接寺:小野篁が閻魔大王より授かった「精霊迎いの法」の根本道場として創建されたとされる。本堂には本尊閻魔大王と脇侍の司録・司命を安置。応仁の乱によって当初の像は焼失したが、長享2年(1488)仏師定勢により再興された。境内の石造塔婆(重文)は、紫式部供養塔と伝えられている。足利義満が感服したと伝わる普賢象桜も著名。

【千光寺(大悲閣)と常寂光寺の文化財】

- 千光寺(大悲閣):黄檗宗(単立)。角倉了以が大堰川開削工事に協力した人々の菩提を弔うために建立。本尊千手観音立像は恵心僧都源信の作と伝えられ、了以の念持仏。その他、角倉了以像をはじめ諸尊を安置する。渡月橋の南岸をさかのぼってつづら折りの石段を登りつめた山の中腹にあり、京都の市内が一望できる絶景で知られる。
- 常寂光寺:慶長年間(1596~1614)に大本山本圀寺第16世究竟院日禪上人によって開創。本堂は小早川秀秋の助力を得て、伏見桃山城の客殿を移築して造営された。多宝塔(重文)は三間、重層、宝形造、檜皮葺、総高約12メートルで、均整のとれた美しい姿で知られる。境内には、見事な花天井を持つ妙見堂がある。※妙見堂は通常非公開

【時間】 13:00~17:00

【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

【定員】 各コース 50名

【平成22年度】京都検定現地講習会



主催 / 京都商工会議所

★ 6月・7月 開催

【休日コース】

※印は通常非公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
②	京都再発見！ 旧京都三山を歩く ～ 第一回 東山・ 神楽岡界隈を歩く～	6月19日(土)	【聖護院積善院】 ※積善院本尊不動明王像(重文)、 ※準提堂本尊準提観音像、 ※旧積善院本堂役行者像、など 【時宗極楽寺】 ※毘沙門天像(秘仏)、蛭子・大黒両脇侍像、 など 吉田神社(斎場所大元宮をはじめ、摂社、 末社解説、および祇園祭秘話紹介)	堤 勇二氏 京都学園大学 非常勤講師

☆主な見どころ☆

- **積善院**: 聖護院院家(いんげ)。鎌倉時代頃の創建とされる。明治初めに、江戸時代建立の準提堂と合併。本堂には積善院本尊、**不動明王(重文)**や光格天皇勅願による**準提観音像**を安置。旧積善院本堂に安置される役行者像は那智の滝を彫り込んだ極めて珍しい像である。**※仏像は通常非公開**
- **極楽寺**: 時宗寺院。恵心僧都源信が一条堀川に創建した天台宗寺院。建治2年(1202)一遍上人によって再興、時宗に改められた。足利義満が深く帰依したことで知られ、本堂に義満の位牌を安置する。元禄6年(1693)現在地に移転。本尊は**勝利毘沙門天立像**で脇侍に**蛭子・大黒の像**を安置する類例のない像で「三福神」像と称されている。**※通常非公開**

【平日コース】

※印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
C	祇園祭の胎動 ～「八坂神社」正式参拝と 「円山公園」「祇園花街」散策～	6月29日(火)	【八坂神社】 正式参拝、※本殿拝観、 祇園祭の案内とビデオ観賞、など 【円山公園】 庭園、山の懸装品倉庫など 【祇園花街】 ※祇園甲部歌舞練場、※弥栄会館など	小嶋 一郎氏 京都産業大学 日本文化研究所 上席特別客員研究員
D	待賢門院と春日局 歴史に名 を残した女性に思いを馳せて ～「法金剛院」観蓮会と 「麟祥院」特別拝観～	7月29日(木)	【法金剛院】 「本尊・阿弥陀如来」「十一面観世音菩薩」 をはじめとする重要文化財、庭園など 【麟祥院】 (※非公開寺院特別拝観) 本堂、霊屋、養老軒、雲龍園など	

☆主な見どころ☆

【祇園祭の胎動】

- **八坂神社**: 創祀は、社伝では平安遷都がなされた延暦13年(794)以前の斉明天皇2年(656)と伝えられている。古くから疫病除けの神として崇敬され、貞観11年(869)疫病流行の際、当社の神にお祈りして始まったのが祇園祭である。**重要文化財の本殿**は別棟であった拝殿と本殿を一つの大屋根で覆った祇園造。**※当日は正式参拝と本殿特別拝観を予定**
- **円山公園**: 明治19年(1886)開設の市内最古の公園。東山を背にして、小川治兵衛による池泉回遊式庭園(名勝)をはじめ、野外音楽堂、坂本龍馬、中岡慎太郎の銅像などがあり、祇園祭の山車や鉾を収納する倉庫が並ぶ。京都随一の桜の名所。
- **祇園甲部歌舞練場**: 明治6年(1873)、建仁寺塔頭清住院が歌舞練場として改造、第2回の都をどりからここで行われた。歌舞練場は大正2年(1913)に現在地に移転、昭和25年(1950)から3年間の修理期間中を除き、毎年、この歌舞練場で上演されている。**※上演時を除き通常非公開**
- **弥栄会館**: 昭和11年(1936)、**木村得三郎の設計**により建築。**白鷺城(姫路城)**を模した和風の伝統が巧みに織り込まれている。京都会館の開館までは、京都のメインホールとして様々な催しが行われていた。現在、1階の「ギオンコーナー」では京都の伝統芸能が鑑賞でき、観光客のナイト・スポットとなっている。登録有形文化財。**※上演時を除き通常非公開**

【待賢門院と春日局 歴史に名を残した女性に思いを馳せて】

- **法金剛院**: 律宗寺院。当地にあった右大臣清原夏野の山荘を寺に改め、双丘寺と称したのがはじまり。大治5年(1130)待賢門院が御願により現在の寺名に改める。円覚上人によって再興。本尊の**阿弥陀如来像**、**十一面観世音菩薩像**など、重要文化財が多数あり。**庭園(特別名勝)**は平安末期の池泉回遊式浄土庭園。**蓮の寺**として知られている。
- **麟祥院**: 徳川3代将軍家光の乳母春日局を菩提寺として著名な妙心寺の塔頭寺院。肥前藩主鍋島勝茂の子碧翁愚完(へきおうぐかん)を開祖として寛永11年(1634)に創建された。御霊屋の襖絵・春日局像等のすぐれた所蔵品のほか、**海北友雪(友松の子)筆「雲龍図」**は特に有名。**※通常非公開**

【時間】 休日②、平日C 13:00～17:00。平日Dは9:00～12:30。
 【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)
 【定員】 各コース 50名

【平成22年度】京都検定現地講習会



★ 9月 開催

主催 / 京都商工会議所

【休日コース】

※印は通常非公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
③	京都再発見！ 旧京都三山を歩く ～ 第二回北山・ 船岡山界隈を歩く～	9月12日(日) 9:00～13:00 ※ 集合場所 天神公園前 (堀川紫明下ル)	【孤篷庵】 ※孤篷庵本堂(方丈)、書院及び忘筌などの重要文化財 【船岡山公園】 建勲神社(船岡妙見社、拝殿、本殿など) 応仁永正戦跡碑、五山送り火などの説明 【今宮神社】 (神門、絵馬堂、月読社をはじめ、摂社、末社解説) など	堤 勇二氏 京都学園大学 非常勤講師

☆主な見どころ☆

- **孤篷庵**:大徳寺の塔頭。慶長17年(1612)に小堀遠州が龍光院内に建てた子院。寛永20年(1643)に現在地に移転。著名な**重要文化財の茶室忘筌席**と**書院直入軒**があり、忘筌席の庭は「露結の手水鉢」と寄燈籠を近景とし、背後の直入軒の庭を遠景として取り込んだ構成で知られる。他に、**山雲床**と称する**茶室**や、**庭園(国の史跡、名勝に指定)**などがある。**※通常非公開**
- **船岡山公園**:標高112メートルの孤立丘陵、史跡。頂上から京の町の眺望がよく、**建物以外から五山送り火がほとんど見渡せる数少ない景勝地**。中世には要衝として戦場となり、応仁の乱で西陣の山名宗全が城塞を築いて東軍の細川勝元を迎え撃った。その後も山をめぐる争奪戦が展開された。園内には、織田信長が静かに眠る**建勲神社**や、**応仁の乱の戦跡碑**などがある。

【平日コース】

※印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
E	京都御苑東側の歴史探訪 ～梨木神社の正式参拝、宮司講話 と「廬山寺」「新島旧邸」拝観～	9月22日(水) 13:00～17:00 ※ 集合場所 梨木神社境内 (寺町広小路上ル)	【梨木神社】 正式参拝、※本殿拝観、宮司講話、 ※能舞台・茶室拝観、萩の花咲く境内案内 【廬山寺】 阿弥陀三尊をはじめ、※明智光秀念持仏、 源氏の庭、慶光天皇陵、御土居址など 【新島旧邸】 ※京都市指定文化財	小嶋 一郎氏 京都産業大学 日本文化研究所 上席特別客員研究員

☆主な見どころ☆

- **梨木神社**:明治18年(1885)に三條家の邸宅跡の東に創建された**旧別格官弊社**。明治維新の功労者である三條実萬(さねつむ)・実美(さねとみ)父子を祀る。**萩の名所**として知られ、萩の宮とも呼ばれる。茶室は、京都御所春興殿(賢所(かしこどころ))の神饌殿を改装したもので、境内には**京の三名水の一つ「染井の水」**の井戸があり、この水を使った茶会が開かれる。その他、**上田秋成**や**湯川秀樹**らの**歌碑**もある。**※当日は正式参拝、宮司の講話などを予定**
- **廬山寺**:圓浄宗本山。天慶年間(938～47)に延暦寺中興の祖、元三大師良源が北山(現在の船岡山の南)に創建。応仁の兵火などの火災に遭ったが、皇室の援助で復興、天正年間(1573～1593)、現在地に移った。当地は**紫式部の邸宅跡**と伝えられ、**源氏の庭**で有名。また境内裏には**御土居址**や**光格天皇父の閑院宮典仁(すけひと)親王(慶光天皇)陵**、**中山愛親の墓**などがある。本堂には**恵心僧都**と伝わる**阿弥陀三尊**等を安置する。

【時間】 休日③ 9:00～13:00。 平日E 13:00～17:00。
 【受講料】 各コース 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)
 【定員】 各コース 50名

【平成22年度】

京都検定現地講習会



★ 10月、11月 開催

主催 / 京都商工会議所

【休日コース】

※印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
④	宇治・木幡黄檗を歩く — 京都を歩く⑨ —	10月17日(日) 13:00~17:00 ※集合場所 JR黄檗駅	【西導寺】※ 薬師如来坐像(重文)、毘沙門天立像(重文)、金剛薩埵など 【許波多神社】本殿(重文)、鐘(重文)、馬頭天王、弁財天など 【能化院】※ 地藏菩薩坐像(重文)など 願行寺、宇治二子塚古墳など	松波 宏隆氏 龍谷大学非常勤講師
⑤	海住山寺と現光寺の仏像 — 文化財の見方、楽しみ方【仏像編④】 —	11月14日(日) 13:00~17:00 ※集合、解散場所 JR加茂駅 ※移動手段 貸切バスを利用	【海住山寺】 ※五重塔内陣(国宝)、※十一面観音立像(重文)、※法華経曼荼羅図(重文)など 【現光寺】※ 十一面観音坐像(重文)など	井上 一稔氏 同志社大学 文学部教授

☆主な見どころ☆

【宇治・木幡黄檗を歩く】

木幡は宇治郡衙が置かれた地であり、平安時代には、藤原氏の別業(べつごう)や埋葬地としてより多くの仏堂が営まれ、その仏像が現在も散在します。また、京都と奈良を結ぶ街道が通り、鎌倉時代から浄土信仰が盛んな地でもありました。街道周辺にのこる遺跡・古墳や仏像、神像の見学を通じ、この地域の歴史的展開を考えます。

- **西導寺**: 浄土宗。薬師如来坐像(重文)・鞍馬寺型の毘沙門天立像(重文)・金剛薩埵と推定される菩薩形立像など平安後期の造立と推定される仏像を安置する。※西導寺は通常非公開
- **許波多神社**: 孝徳天皇大化元年(645)、孝徳天皇が中臣鎌足に詔して神殿を造営。671年の壬申の乱を前に大海人皇子(天武天皇)が戦勝祈願を授かった神社、社殿よりつづく馬道で『競べ馬』の神事が執り行われた競馬発祥の神社として知られる。本殿(重文)は永禄5年(1562)の建築で墓股などに時代的特徴がよくみられる。
- **能化院(のうげいん)**: 曹洞宗。坂上田村麻呂創建と伝わる。地藏菩薩坐像(重文)は平安末期の造立と推定される半丈六像。※能化院は通常非公開

【海住山寺と現光寺の仏像】

- **海住山寺**: 真言宗智山派。天平七年(735)、聖武天皇の勅願により、東大寺の良弁僧正が創建と言われる。本尊は十一面観音菩薩を安置。当初は観音寺と呼ばれたと言われるが、鎌倉時代に寺院を再興した解脱房貞慶(1155-1213)が、観音霊場に因んで海住山寺と名付けた。山上の伽藍は貞慶が復興して後のもので、本堂の傍らにそびえる朱塗りの五重塔(国宝)は鎌倉時代に建てられた。その他に十一面観音像、文殊堂、絹本着色法華曼荼羅図、海住山寺文書(いずれも重文)など、多くの文化財を有する。※(開催日当日は文化財特別公開、国宝五重塔開扉の最終日)
- **現光寺**: 元禄10年(1697)の再興時に海住山寺縁起絵巻の詞書撰者である真敬法親王(興福寺一乗院門跡)が落成を賀したこと、正徳2年(1712)に貞慶上人の五百年忌に際して海住山寺の本堂開帳が行われた時、現光寺の住僧が参詣したことなど、海住山寺とのつながりのもとで歩んできた歴史を物語っている。宝物庫に安置されている十一面観音菩薩(重文)は珍しい坐像で鎌倉期の作。「飲酒」を禁じた石柱が本堂横に残っており、戒律に厳しい寺と言われている。※現光寺は通常非公開

【平日コース】

※印は通常非公開もしくは期間公開です

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
G	伏見の歴史を学ぶ ~「御香宮神社」宮司講話、庭園散策 「松本酒造」酒蔵、伏見界限見学~	11月9日(火) 13:00~17:00 ※集合場所 御香宮神社	【御香宮神社】宮司講話、 ※書院庭園特別拝観、境内拝観 【松本酒造】※ 代表講話、酒蔵見学、新酒試飲など 伏見大手筋商店街、油掛地藏(西岸寺)など	小嶋 一郎氏 京都産業大学 日本文化研究所 上席特別客員研究員

☆主な見どころ☆

- **御香宮神社**: 日本第一安産守護之大神の神功皇后を主祭神として仲哀天皇応神天皇他六柱の神を祀る。平安時代、境内から病気に効く香水が湧き出たので、清和天皇より『御香宮』の名を賜った。小堀遠州ゆかりの石庭がある書院の庭をはじめ、表門、本殿(いずれも重文)など、桃山期の特色ある建築物がある。豊臣秀吉は伏見城の守り神とし、鳥羽伏見の戦いでは薩軍の屯所となった。
- **松本酒造**: 寛政3年(1791)創業。「酒蔵群」とその前景の「菜の花畑」は時代劇の撮影地として広く知られている。酒蔵、煉瓦建造物の倉庫(大正11年建立)などは平成19年に経済産業省の近代化産業遺産に認定され、同社の迎賓館である万暁院(昭和29年建立)と正門(江戸時代建立)は平成20年に国の登録有形文化財に登録された。同社では常に時代の変化にあわせて本物の純米酒造りに取り組んでいる。※松本酒造は通常非公開

【時間】 13:00~17:00

【受講料】 休日コース④、平日コースGは3,500円

休日コース⑤は4,500円(いずれも拝観料・レジュメを含む)

【定員】 各コース 50名

【平成22年度 京都検定現地講習会】



叡山電鉄で学ぶ京都検定

～叡山電鉄こもれび列車「京都検定号」で、
秋の風情漂う洛北の名所に出発！～

主 催 / 京都商工会議所
協 力 / 叡山電鉄株式会社

NO	講座名	開催日	拝観先	講師
F	修学院・一乗寺コース	10月8日(金) 13:00～17:00 ※ 集合場所 叡電出町柳駅 改札前	【関西セミナーハウス】※能舞台「豊饗殿」 ※茶室「清心庵」など 【曼殊院】大書院、小書院 (いずれも重文) 枯山水庭園 (名勝)、竹虎図 (重文) ※古今和歌集 (国宝)、※源氏物語 (重文) など	小嶋 一郎 氏 京都産業大学 日本文化研究所 上席特別客員研究員

※印は通常非公開もしくは期間公開です

☆見どころ☆

【修学院・一乗寺コース】

- 関西セミナーハウス:昭和42年(1967)、日本キリスト教アカデミーの関西拠点として開設。現在、「歴史的風土特別保存地区」に指定される素晴らしい環境のなか、研修や学会など幅広く使用されている。能舞台「豊饗殿」は、明治31年(1898)豊国神社に作られた能舞台を移築したもの。茶室「清心庵」は、昭和53年(1978)、裏千家の千玄室前家元の全面的な協力によって再興された茶室。それぞれ四季折々の風景と調和した美しい佇まいで知られる。 ※ 研修、学会の開催以外では通常非公開

- 曼殊院:天台宗五箇室門跡の1つ。大書院(重要文化財)は、月型、卍崩しの欄間や瓢箪、扇、経巻などの引手金具の洗練された意匠が特徴。桂離宮との共通点が見出される。小書院(重要文化財)の主室「黄昏の間」には「曼殊院棚」と呼ばれる違棚があり、寄木造の独創的な構成で知られる。また庭園(名勝)は遠州好みの枯山水。その他にも平安時代の『古今和歌集』(曼殊院本)(国宝)や『源氏物語』(重要文化財)、伝狩野永徳筆「竹虎図」(重要文化財)など、多数の名宝を所有している。

※ 『古今和歌集』(曼殊院本)(国宝)や『源氏物語』(重文)は、曝涼(虫干し)で拝観予定

【時 間】 13:00～17:00
【定 員】 50名
【受講料】 3,500円 (拝観料・レジュメを含む)

禅と食文化 ~銀閣寺特別拝観・法話と精進料理~

— 歴史の舞台を訪れ、食文化を体感する —

◎ 講座のコンセプト

- ① 「食は歴史とともにあり」 ⇒ 1200年の歴史に育まれた京の食文化を分かりやすく解説します！
食文化が育まれた場所に実際に赴き土地の方の話に耳を傾けることで、その歴史や地域の特性、京都人の“食”に対する想いが見えてきます。幅広い視点から京の食文化の本質に迫ります。
- ② 「食は体感することにより」 ⇒ 食べてみないと始まらない！ 京を堪能する美味しい講座です！
食は実際に体感してこそ本質が分かるもの。知識と体感の両面から、楽しくそして美味しく学ぶ現地講座です。気軽に旬の京料理や京野菜を食べてみたい方も大歓迎です！

◎ 第3回は、室町時代に花開いた禅宗の食文化について学びます！

足利義政が築いた東山文化の集大成である銀閣寺(慈照寺)を特別拝観し、室町時代に花開いた禅宗の食文化について銀閣寺執事長平塚景堂師の法話をお伺いします。また寺内で昼食として精進料理をご賞味いただきます。

◎ 見学先とスケジュール(予定)

10:00 銀閣寺(正式名称:慈照寺)門前に集合

10:00~11:00 銀閣寺執事長 平塚景堂師によるご法話 テーマ「禅と食文化」(於:書院)

○ 平塚景堂師プロフィール: 昭和24年(1949)生まれ。東京芸術大学美術学部卒。大徳寺専門道場にて禅修行。大本山相国寺塔頭養源院住職。銀閣寺執事長。現職のほか、文学、絵画、作曲などの分野で幅広く活躍している(以下主要なものを列記)。

〔文学歴〕1993年、戯曲「さすらい枯野抄」が大阪近鉄アート館で上演される。

〔絵画歴〕1994年より毎年、「ギャラリーマロニエ」(四条河原町)にて個展を開催。

〔作曲歴〕2004年、ピアノ五重奏曲「スペクトラム」をウィーンピアノ五重奏団が初演。以後レパートリーに取り入れられる。

○ 書院: 平成5年(1993)に建造。大広間には明治の画家・富岡鉄斎の襖絵がある。

11:15~12:15 銀閣寺 特別拝観(通常非公開)

○ 方丈(本堂): 江戸中期の建造。銀沙灘と対照をなすたたずまいの美しさで知られる。本尊は釈迦牟尼仏。内部には与謝蕪村、池大雅の襖絵がある。

○ 東求堂(国宝): 東山殿造営当時の遺構で本来持仏堂。堂内の四畳半書院同仁斎は、草庵茶室の源流、また四畳半の間取りの始まりといわれている。

○ 泉殿(弄清亭): 義政好みの香座敷。現在も志野宗信を祖とする志野流香道の香座敷となっている。平成8年(1996)日本画家の奥田元宋の襖絵が完成した。

12:30~13:30 「上幸」(うへこう)による精進料理(昼食)

○ 精進料理 上幸: 中京区大宮通錦上ルにある精進料理専門の仕出屋。銀閣寺や相国寺、南禅寺などに料理を納める。野菜、麩、湯葉、豆腐などを駆使し、それらの持味を最大限に活かした料理をモットーに日々研鑽を重ねている。

13:45~14:45 銀閣寺庭園(特別史跡・特別名勝)散策

○ 庭園: 足利義政が西芳寺(苔寺)にならって造営。月待山を背景に広がる庭園は、池泉回遊式庭園の発祥とされ、どの角度からも鑑賞できるよう設計されている。

15:00 解散

【日時】 平成22年6月2日(水) 10:00~15:00

【受講料】 7,800円(拝観料・ランチ代等含む)

【定員】 50名限定(申込多数の場合は抽選となります)

※ 募集最少人数に達しない場合は中止となります。

【コーディネーター】 丘 眞奈美氏(京都ジャーナリズム歴史文化研究所 代表)

【プロフィール】 京都市生まれ。ノートルダム女子大卒。出版社、NHK 京都キャスター、民放の制作ディレクターを経て放送作家に。現在京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表。京都市観光大使・おこしやす京都委員会幹事などの公職も多かつとめる。著書に『京都「魔界」巡礼』、『京都の「ご利益」徹底ガイド』(ともにPHP 研究所)などがある。

祇園祭と京料理を体感！

— 歴史の舞台を訪れ、食文化を体感する —

◎ 講座のコンセプト

- ① 「食は歴史とともにあり」 ⇒ 1200年の歴史に育まれた京の食文化を分かりやすく解説します！
食文化が育まれた場所に実際に赴き土地の方の話に耳を傾けることで、その歴史や地域の特性、京都人の“食”に対する想いが見えてきます。幅広い視点から京の食文化の本質に迫ります。
- ② 「食は体感することにより」 ⇒ 食べてみないと始まらない！ 京を堪能する美味しい講座です！
食は実際に体感してこそ本質が分かるもの。知識と体感の両面から、楽しくそして美味しく学ぶ現地講座です。気軽に旬の京料理や京野菜を食べてみたい方も大歓迎です！

◎ 第4回は、祇園祭と京料理を探訪します！

祇園祭は平安時代初期の貞観11年(869年)、全国で流行した疫病退散を祈願して神泉苑で行なわれた御霊会を起源としています。御霊会とは最強の疫神スサノオ命(牛頭天王)を祭祀し、鉾や風流傘に疫神を封じ込めて祓うという祭祀でした。神泉苑では往時の国の数である66本の鉾を立て神輿が担がれたといわれています。山車がつき豪華な懸装品で飾られた山鉾の登場は室町時代以降だと言われています。ご祭神・スサノオ命が都に勧請された時、神輿は中京区壬生の元祇園柳神社に安置され、鉾・風流傘、棒振り踊で囃しながら祇園感神院(八坂神社)へ送ったといわれています。そうした初期の祇園祭の原形をとどめているのが綾傘鉾です。

今回は鉾建て直前の鉾町を探訪します。新町の紫織庵にて屏風祭を一足早く見学し、館主・川崎栄一郎氏のお話をお伺いします。また、京料理「木乃婦」では綾傘鉾保存会広報理事・橋本繁美氏による映像を交えながらのミニ講義、三代目ご主人高橋拓児氏によるトークの後、饗をはじめとする祇園祭の味覚をお楽しみ頂きます。

◎ 見学先とスケジュール(予定)

10:00 京のじゅばん & 町家の美術館「紫織庵」前集合、「紫織庵」見学と新町通散策

○ 紫織庵(中京区新町通六角上ル西側)

:平成11年に京都市指定有形文化財に指定。豪商家に多い間口が広い「大塀造」という伝統的な京町家と洋館が融合。洋館屋上は山鉾巡行を見るための「鉾見台」がある。日本画家・竹内栖鳳による東山三十六峰をモチーフにした欄間など貴重な町家資料が残る。一階の和室では屏風祭を再現。

12:00 京料理「木乃婦」にて、綾傘鉾保存会広報理事、木乃婦三代目ご主人によるお話と京料理

○ 京料理 木乃婦(下京区新町通仏光寺南)

:室町の仕出し店として暖簾をあげ、70年の歴史を持つ料亭。老舗の暖簾を受け継いだ三代目ご主人の高橋拓児氏はソムリエの資格をもち、選び抜いた素材を活かしながら、豊かな発想で従来の概念を脱した独自の京料理を展開。圧倒的な支持を集めている。

○ 綾傘鉾(※ 当日、鉾や飾りはありませんのでご了承ください)

:『世界遺産に選定された』祇園祭の原形を伝える傘鉾。巡行の時に同行する「棒振り」が有名。元治元年(1864年)の大火で焼失。明治12年(1879年)~17年(1884年)に徒歩囃子として巡行に復帰したが途絶える。昭和54年(1984年)に町内の努力で100年ぶりに復活。

14:30 大原神社ご参拝

○ 大原神社(下京区綾小路新町東入ル西善長寺町)

:もとは本鉾町に存在していた「善長寺」の中に立地。「善長寺」が蛸薬師通新京極下ルに移転し、神社と町名が残ったといわれる。祇園祭の時には綾傘鉾の町家・会所となる。

15:00 解散

【日時】 平成22年7月9日(金) 10:00~15:00

【受講料】 6,800円(拝観料・ランチ代等含む)

【定員】 50名限定(申込多数の場合は抽選となります。)

※ 募集最少人数に達しない場合は中止となります。

【コーディネーター】 丘 眞奈美氏(京都ジャーナリズム歴史文化研究所 代表)

【プロフィール】京都市生まれ。ノートルダム女子大卒。出版社、NHK 京都キャスター、民放の制作ディレクターを経て放送作家に。現在京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表。京都市観光大使・おこしやす京都委員会幹事などの公職も多かつとめる。著書に『京都「魔界」巡礼』、『京都の「ご利益」徹底ガイド』(ともにPHP 研究所)などがある。



平成22年度 京都検定講習会 京の食文化探訪 ⑤

世界文化遺産賀茂御祖神社特別参拝と下鴨の食文化 ～みたらし団子のルーツと鯖寿司～

— 歴史の舞台を訪れ、食文化を体感する —

◎ 講座のコンセプト

- ① 「食は歴史とともにあり」 ⇒ 1200年の歴史に育まれた京の食文化を分かりやすく解説します！
食文化が育まれた場所に実際に赴き土地の方の話に耳を傾けることで、その歴史や地域の特性、京都人の“食”に対する想いが見えてきます。幅広い視点から京の食文化の本質に迫ります。
- ② 「食は体感することにより」 ⇒ 食べてみないと始まらない！ 京を堪能する美味しい講座です！
食は実際に体感してこそ本質が分かるもの。知識と体感の両面から、楽しくそして美味しく学ぶ現地講座です。気軽に旬の京料理や京野菜を食べてみたい方も大歓迎です！

◎ 第5回は、下鴨神社とみたらし団子、鯖寿司のルーツを探訪します！

賀茂川と高野川、鴨川の三川合流地帯に位置する下鴨には賀茂別雷神社（上賀茂神社）のご祭神の祖父神と母神が祀られる賀茂御祖神社（下鴨神社）があります。この上下賀茂社は、古代においてカモ氏の氏神として創建され共に世界文化遺産に登録されています。下鴨神社の参道にあたる糺の森は京都古代の植生を伝え、古典などにも読まれ時代を超えて愛されてきました。糺の森には三川合流地帯のすぐ近くに鴨長明ゆかりの河合神社、その北側に「糺の池跡」があり、古代においてカモ氏と秦氏の関係が語られているようです。境内の御手洗池は「みたらし団子」の起源を伝え、夏の土用の丑の日には「足つけ神事」が行われます。

一方、かつての交通の要衝であった出町柳は、海から遠い京都盆地に海産物を届けた「鯖街道」の終着点になっていました。出町は若狭の魚や大原女が行商した芝や炭などの物資が集まり大変賑わったといわれています。その代表が「一塩鯖」でした。故に京都人は「鯖寿司」をハレの日のご馳走として珍重してきました。

今回は下鴨地域の歴史に縁が深い「みたらし団子」と、「鯖寿司」を盛り合わせた折詰弁当をご賞味いただき、下鴨神社においては特別参拝と神道研究者としても著名な嵯峨井健禰宜氏に貴重なお話もお伺いします。

◎ 見学先とスケジュール(予定)

10:00 京阪出町柳駅前集合、

三河合流地帯を経由して、下鴨神社境内(一の鳥居、河合神社、糺の森など)を案内

11:00 下鴨神社 参集殿にて、下鴨神社禰宜によるミニ講義と「鯖寿司」を盛り合わせた折詰弁当

- ミニ講義 「下鴨神社の歴史について」(仮題)

講師 下鴨神社 禰宜 嵯峨井 建 氏

昭和23年石川県生まれ。国学院大学神道学専攻科修了。宗教文化史専攻。
著書に「日吉大社と山王権現」。神道史研究者としても活躍されている。

- 折詰弁当(鯖街道 花折 提供)

13:00 下鴨神社特別参拝と特別拝観

15:00 解散(お帰りの際にお土産として加茂みたらし茶屋の「みたらし団子」をお渡しいたします)

☆主な見どころ☆

- **下鴨神社**: 平安期以前の創祀で京最古の社の一つ。祭神は賀茂建角身命と玉依媛命。国史跡「糺の森」の広大な境内には本殿(国宝)2棟や社殿(重文)53棟が並び、平成6年(1994年)12月世界文化遺産に登録された。5月15日の葵祭では優雅な王朝絵巻を再現する。
- **鯖街道 花折**: 大正2年、京料理仕出し店として開業。平成元年現在地に店を構える。秘伝の合わせ酢に漬け込んだ酢飯の上に鯖と白板昆布をのせた重みのある一品に、「バランスのとれた味が楽しめる」と好評。
- **加茂みたらし茶屋**: 下鴨神社の神饌菓子。竹串にさした五つの団子は、初めの一つから少し間隔をあけて後の四つが並ぶのが特徴。糺の森の御手洗池(清めの泉水)に湧く水の泡を表しているといわれている。

【日 時】 平成22年10月21日(木) 10:00~15:00

【受講料】 6,800円(拝観料・ランチ代等含む)

【定 員】 50名限定(申込多数の場合は抽選となります。)

※ 募集最少人数に達しない場合は中止となります。

【コーディネーター】 丘 眞奈美氏(京都ジャーナリズム歴史文化研究所 代表)

【プロフィール】 京都市生まれ。ノートルダム女子大卒。出版社、NHK京都キャスター、民放の制作ディレクターを経て放送作家に。現在京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表。京都市観光大使・おこしやす京都委員会幹事などの公職も多かつとめる。著書に『京都「魔界」巡礼』、『京都の「ご利益」徹底ガイド』(ともにPHP研究所)などがある。